

# 平成16年度当初予算案主要事項説明資料

農 林 水 産 部

## 主 要 事 項 説 明 資 料 目 次

頁	事 業 名	担 当 課 ( 室 )
1	農林水産部関係公共事業費	各 課
2	中山間地域等直接支払事業費	農 村 振 興 課
3	農のあるライフステージ創造事業費	農 村 振 興 課
4	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費	農 村 振 興 課
5	ブランド京野菜等倍増戦略事業費	農 産 流 通 課
6	「宇治茶」ブランド支援事業費	農 産 流 通 課
7	「いただきます。地元産」プラン推進事業費	農 産 流 通 課
8	京の水田農業確立支援事業費	農 産 流 通 課
9	家畜保健衛生所機能強化費	畜 産 課
10	水と農・ふれあいづくり推進事業費	耕 地 課
11	森林整備地域活動支援事業費	林 務 課

平成16年度当初予算案主要事項説明

事項名	農林水産部関係公共事業費					
予算額	9,489,700千円		新規・継続の別	継続		
事業内容  目的 対象 方法 等	【平成16年度農林水産部関係公共事業費】					
	課名	事業名	事業主体	平成16年度 当初予算額 (千円)	前年度 当初予算額 (千円)	前年比 (%)
	畜産課	畜産基盤再編 総合整備事業	京都府農業 開発公社	—	115,289	皆減
		小計		—	115,289	皆減
	耕地課	府営農業基盤 整備事業	府	2,056,526	2,732,472	75.3
		団体営農業基盤 整備事業	市町村 土地改良区	1,446,121	1,677,704	86.2
		国直轄事業負担金	国 緑資源機構	2,426,794	2,062,803	117.6
		小計		5,929,441	6,472,979	91.6
	水産課	沿岸漁場整備開発 事業	府 市町村	160,321	178,168	90.0
		漁港関係施設等 整備事業	府 市町村	646,732	718,558	90.0
		小計		807,053	896,726	90.0
	林森 林務保 全課	造林事業	市町村 森林組合等	854,921	949,970	90.0
		林道事業	府 市町村	432,270	480,331	90.0
		治山事業	府 市町村	1,466,015	1,628,905	90.0
		小計		2,753,206	3,059,206	90.0
	合計			9,489,700	10,544,200	90.0
	【府民と進める農林水産公共事業】（政策ベンチャー事業） ▶趣 旨 事業に附帯して行う環境整備等への府民参加を推進することにより、事業への理解を深めるとともに、地域ぐるみで農村維持体制の確立につなげる。 ▶事業概要 府民参加型の協働計画→自然環境調査や環境整備工事計画への意見反映 府民参加型の協働施工・協働管理→簡易な整備工事や維持管理活動の実施 ⑯ 中丹地域においてモデル的に実施 ⑰ 他の地域に拡大して実施 ⑱以降 地域特性を重視した府民参加型の農山漁村づくりを進めるため、農林水産公共事業における府民参加の取り組みを推進する。					
	担当課・係名	耕地課計画係 水産課漁港係 森林保全課治山係		課・係電話番号	075 - 414 - 5042 075 - 414 - 5028 075 - 414 - 4997	

平成16年度当初予算案主要事項説明資料

部局名 農林水産部

事業名	中山間地域等直接支払事業費																	
予算額	469,130千円	新規・継続の別	継続															
事業内容  〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により、多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、集落機能の維持・強化を通じて、多面的機能を確保する観点から直接支払を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 対象地域：地域振興8法（特定農山村、山村、過疎、半島振興等）指定地域及び特認地域内の農振農用地</p> <p>(2) 対象行為：集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(3) 対象者：協定等に基づき、農業生産活動等を行う者</p> <p>(4) 実施期間：平成12年度～16年度（5年後に事業見直し）</p> <p>(5) 交付単価 <span style="float: right;">〔数値単位：円/10a〕</span></p> <table border="1" data-bbox="389 1093 1426 1323"> <tr> <td></td> <td>急傾斜（田1/20～、畑15度～）</td> <td>緩傾斜（田1/100～、畑8度～）</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>21,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11,500</td> <td>3,500</td> </tr> </table> <p>* 新規就農や担い手の規模拡大については田1,500円、畑500円の上乗せ</p> <p>(6) 実施主体：市町村</p> <p>(7) 負担区分</p> <table border="1" data-bbox="424 1458 1251 1554"> <tr> <td>国 1/2</td> <td>府 1/4</td> <td>市町村 1/4（特認以外）</td> </tr> <tr> <td>国 1/3</td> <td>府 1/3</td> <td>市町村 1/3（特認）</td> </tr> </table> <p>* 特認…地域振興8法以外の地域において、中立的な第三者委員会の意見を聴いて、知事が制度の対象とする条件不利な地域及び農用地の基準を定めたもの。</p> <p>(8) 平成16年度想定面積 約4,310ha（田約4,230ha、畑約80ha）</p>				急傾斜（田1/20～、畑15度～）	緩傾斜（田1/100～、畑8度～）	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500	国 1/2	府 1/4	市町村 1/4（特認以外）	国 1/3	府 1/3	市町村 1/3（特認）
	急傾斜（田1/20～、畑15度～）	緩傾斜（田1/100～、畑8度～）																
田	21,000	8,000																
畑	11,500	3,500																
国 1/2	府 1/4	市町村 1/4（特認以外）																
国 1/3	府 1/3	市町村 1/3（特認）																
担当課・係名	農村振興課農業構造改善係	課・係 電話番号	075-414-4902															

平成16年度当初予算案主要事項説明

部局名 農林水産部

事業名	農のあるライフステージ創造事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容  <b>（目的 対象 方法等）</b>	<p><b>1 趣旨</b></p> <p>民間企業や市町村等関係機関と連携し、定年を控えた企業従事者や転職希望者等を対象に「農のある暮らし」についての説明会、現地ツアー、現地相談会等を実施し、農村暮らしの実情や様々な可能性を知らせることにより、「農業の担い手」だけでなく、農村に暮らしながら、その能力を生かして農村の活性化に関わる「農のある暮らし実践者」を創出する。</p> <p><b>2 事業概要</b></p> <p>(1) <b>農のある暮らし創造セミナー</b></p> <p>農のある暮らしに関心のある企業従事者等を対象に開催し、農村暮らしについての各種情報を提供することにより、定年退職を控えた方にはその能力を生かせる定年後のライフスタイルの1つとして「農のある暮らし」を、転職希望者には各種支援施策を活用した「新規就農」を提案する。</p> <p>(2) <b>農のある暮らし体感ツアー</b></p> <p>農のある暮らしに関心のある方とその家族を対象に実施し、農村地域での見学と交流を通じて「農のある暮らし」や「新規就農」の実情と様々な可能性を体感していただく。</p> <p>(3) <b>農のある暮らし現地相談会</b></p> <p>市町村とともに、農のある暮らしの実現を希望する方を対象にした個別相談会を現地で開催し、「農のある暮らし実践者」や「新規就農者」の創出に結びつける。</p>		
担当課・係名	農村振興課担い手育成係	課・係 電話番号	075-414-4900

平成16年度当初予算案主要事項説明

部局名 農林水産部

事業名	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費		
予算額	33,347千円	新規・継続の別	継続
事業内容  （目的 対象 方法等）	<b>1 趣旨</b> 就農経験のない若者や定年帰農希望者等を、高齢化等が急速に進行している農林水産業分野に受け入れる仕組みを確立することにより、担い手の確保・育成を図る。		
	<b>2 事業概要</b> (1) 農林水産業入門支援事業費		
	事業主体	京都府農業会議	
	事業内容	農林水産業入門支援センターの設置 ○新規参入希望者（農業・林業・水産業）に対する相談窓口の一元化 ○実践農場等研修先の紹介、連携 等	
	(2) 実践農場整備事業費 就農希望者が研修後も継続して就農できる実践農場の整備		
	事業主体	府 （一部京都府農業開発公社に委託）	市町村等
事業内容	①農場運営管理者の設置 ○農地の選定、借上げ等 ②研修終了後も同一農地での就農を図ることができる農場の整備 ○農場指導者の設置、ハウス等の借上げ	①住宅確保等の地域調整を図る担い手づくり後見人の設置、活動支援 ②農地の整備、機械等の借上げ	
対象者	新規参入者（非農家子弟）		
備考	実雇員人数30人		
担当課・係名	農村振興課担い手育成係	課・係 電話番号	075-414-4900

平成16年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ブランド京野菜等倍増戦略事業費		
予算額	272,247千円	新規・継続の別	継 続
事業内容  (目的 対象 方法等)	○京野菜こだわりプロジェクト推進事業費 246,847千円		
	1 趣 旨		
	京都らしい環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした独自の新たな認証により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。		
	2 事業内容		
	事業名	事業内容	⑯予算額
	京野菜こだわり土づくり支援事業	○地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の展示ほ設置等に対する支援	5,000
	京野菜こだわりの実証研究普及事業	○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及 ○環境にやさしい農業技術の研究・開発	千円 10,800
	京野菜こだわり産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	182,726
	京都こだわり生産認証事業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	14,000
	トレーサビリティシステム導入促進対策事業	○生産履歴の開示システムをIT化し、情報開示が速やかに行えるトレーサビリティシステムの導入に対する支援	34,321
担当課 ・ 係名	○ブランド京野菜等倍増推進事業費 25,400千円		
	1 趣 旨		
	確かなものづくりにより京野菜の魅力をもっと強化し、ブランドイメージを高めるとともに、ブランド京野菜を多くの消費者・流通関係者に浸透させ、需要の拡大を図る。		
	2 事業内容		
	事業名	事業内容	⑯予算額
	「京マーク」のPR事業	○様々なメディアを活用した「京マーク」のPR ○ブランド京野菜ファンクラブ(HP)の開設 ○消費者や流通関係者に対するアンケート調査の実施	千円 13,000
	観光産業連携事業	○観光産業等との連携によるブランド京野菜のPR	4,400
	マーケティングアドバイザー設置事業	○首都圏等の販売戦略検討のためのアドバイザー設置 ○販売促進会議・販売戦略セミナーの開催	3,000
	アンテナショップ等販売促進事業	○アンテナショップや販売協力店等での販売促進キャンペーンの実施	5,000
	担当課	ブランド対策係	課・係直通
・	農産流通課		4944
係名	野菜花き係	電 話 番 号	4967
	環境保全係		

平成 1 6 年 度 当 初 予 算 案 主 要 事 項 説 明

農林水産部

事業名	「宇治茶」ブランド支援事業費			
予算額	391,687千円	新規・継続の別	新規	
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨  ▶ 府内産茶増産に向け、大規模茶園の新規造成に対し重点的に支援するとともに、早期成園化に向けた取組を強化し早急に府内茶園の拡大を図る。  ・ 17年産から（16年産は移行期間）産地銘柄に関する表示基準を改正。 ・ このため、府内産茶の増産が急務。（約1万2千トンの宇治茶生産量に対し、府内産荒茶生産量は約3千トン）			
	2 事業概要			
	事 項	事 業 内 容	⑩予算額	
	茶園基盤整備	大規模茶園の新規造成	千円 228,400 [12.5ha]	
	植栽条件整備	排水対策、土づくり、土壌病害虫防除、苗木購入等	26,160 [13ha]	
機械施設導入	・ 施設整備（防霜ファン、点滴施肥システム）、機械導入 ・ 茶工場設置	36,207		
実 証 ほ	丹後国営茶園実証ほの設置	920		
小 計		291,687		
融 資	・ 茶園育成経費に対する融資 [農業改良資金、農改特会] ・ 茶機械・施設の改良等に対する融資 [農業近代化資金]	100,000 融資枠 (300,000)		
合 計		391,687		
3 実施主体 ○茶園基盤・植栽条件整備、機械施設導入：営農集団、JA ○実証ほ：京都府 ○融 資：茶生産農家、営農集団  4 事業実施期間 平成16年度～20年度（5年間）				
担当課・係名	農産流通課 茶業果樹係	直通電話番号	075-414-4961	



平成16年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「いただきます。地元産」プラン推進事業費								
予算額	9,500千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 安全・新鮮でおいしいブランド京野菜等地元農産物の学校給食等への利用の推進</li> <li>▶ 学校給食、体験学習を通じて子ども達の地元農産物や農業・農村に対する関心を高め、食文化や食生活への理解を深める。</li> </ul> <p>2 内 容</p> <p>(1) 京都府段階の協議会の設置</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業</td> <td>府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、食材供給にかかるバリアを解消するため、府段階において協議会を設置する。</td> <td>千円 500</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	事業費	「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、食材供給にかかるバリアを解消するため、府段階において協議会を設置する。	千円 500		
	事業名	事業内容	事業費						
	「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、食材供給にかかるバリアを解消するため、府段階において協議会を設置する。	千円 500						
	(2) 京野菜等地元野菜を利用した学校給食のモデル実施に対する取組支援								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業</td> <td>市町村が選定した、モデル校における地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。</td> <td>千円 2,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	事業費	「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業	市町村が選定した、モデル校における地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。	千円 2,000			
事業名	事業内容	事業費							
「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業	市町村が選定した、モデル校における地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。	千円 2,000							
(3) 食文化・食生活への理解促進									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農と食のふれあい支援事業</td> <td>地元の農場や農産加工場等において、農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。</td> <td>千円 2,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	事業費	農と食のふれあい支援事業	地元の農場や農産加工場等において、農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。	千円 2,000			
事業名	事業内容	事業費							
農と食のふれあい支援事業	地元の農場や農産加工場等において、農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。	千円 2,000							
(4) 地元産米利用促進の取組									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元産米の利用推進事業</td> <td>市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。</td> <td>千円 5,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	事業費	地元産米の利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。	千円 5,000			
事業名	事業内容	事業費							
地元産米の利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。	千円 5,000							
3 事業実施期間 平成16年度～18年度(3年間)									
担当課 ・係名	農産流通課 食糧係	課・係直通 電話番号	075-414-4959						

# 平成16年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の水田農業確立支援事業費																																		
予算額	70,000千円	新規・継続の別	新規																																
事業内容 目的 対象 方法等	<p><b>1 趣 旨</b></p> <p>新たな米政策の下では、生産者の主体的な判断を重視して米の需給調整に取り組まれることになるため、米価下落や米の産地間競争の激化等が懸念される。</p> <p>そこで「京都環境こだわり米（仮称）」の栽培による市場競争力のある府内産米の生産・販売対策の強化や、黒大豆・小豆等、地域特産物の省力機械化生産を重点的に進める。</p> <p>※「京都環境こだわり米（仮称）」：減農薬、減化学肥料など、環境、安心・安全へのこだわりを実現する栽培方法により生産される米</p>																																		
	<p><b>2 事業概要</b></p> <table border="1" data-bbox="368 904 1453 1644"> <thead> <tr> <th>事業種目</th> <th>助成対象</th> <th>⑩予算額</th> <th>地区数・補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戦略的産地づくり支援事業</td> <td>戦略的産地導入支援事業 条件整備事業</td> <td>「京都環境こだわり米（仮称）」栽培に必要なハード整備</td> <td>17,000 4/10以内 10地区</td> </tr> <tr> <td>実証活動事業</td> <td>「京都環境こだわり米（仮称）」導入に必要な検討会、現地実証</td> <td>3,000 1/2以内、10地区 2年間継続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">戦略的産地づくり支援事業</td> <td>戦略的産地導入支援事業 条件整備事業</td> <td>産地拡大、生産安定に必要なハード整備</td> <td>25,000 4/10以内 5地区</td> </tr> <tr> <td>実証活動事業</td> <td>産地拡大、生産安定に向けての実証活動（機械収穫等）</td> <td>3,000 1/2以内、10地区 2年間継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地域対応作物導入支援事業</td> <td>麦等の土地利用型作物の生産拡大等に必要なハード整備</td> <td>20,000 4/10以内 6地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新たな流通チャンネル開拓促進事業</td> <td>米</td> <td>府内産米の公的施設等での利用促進のための検討（実態調査等）</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>黒大豆・小豆</td> <td>黒大豆、小豆の新しい販路確保の検討（加工特性の調査・分析等）</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td>70,000</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 実施主体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戦略的産地づくり支援事業：集落等営農組織、JA、市町村協議会等</li> <li>○新たな流通チャンネル開拓促進事業：京都府</li> </ul> <p><b>4 事業実施期間</b> 平成16年度～18年度（3年間）</p>			事業種目	助成対象	⑩予算額	地区数・補助率	戦略的産地づくり支援事業	戦略的産地導入支援事業 条件整備事業	「京都環境こだわり米（仮称）」栽培に必要なハード整備	17,000 4/10以内 10地区	実証活動事業	「京都環境こだわり米（仮称）」導入に必要な検討会、現地実証	3,000 1/2以内、10地区 2年間継続	戦略的産地づくり支援事業	戦略的産地導入支援事業 条件整備事業	産地拡大、生産安定に必要なハード整備	25,000 4/10以内 5地区	実証活動事業	産地拡大、生産安定に向けての実証活動（機械収穫等）	3,000 1/2以内、10地区 2年間継続	地域対応作物導入支援事業		麦等の土地利用型作物の生産拡大等に必要なハード整備	20,000 4/10以内 6地区	新たな流通チャンネル開拓促進事業	米	府内産米の公的施設等での利用促進のための検討（実態調査等）	1,000	黒大豆・小豆	黒大豆、小豆の新しい販路確保の検討（加工特性の調査・分析等）	1,000	合 計		
事業種目	助成対象	⑩予算額	地区数・補助率																																
戦略的産地づくり支援事業	戦略的産地導入支援事業 条件整備事業	「京都環境こだわり米（仮称）」栽培に必要なハード整備	17,000 4/10以内 10地区																																
	実証活動事業	「京都環境こだわり米（仮称）」導入に必要な検討会、現地実証	3,000 1/2以内、10地区 2年間継続																																
戦略的産地づくり支援事業	戦略的産地導入支援事業 条件整備事業	産地拡大、生産安定に必要なハード整備	25,000 4/10以内 5地区																																
	実証活動事業	産地拡大、生産安定に向けての実証活動（機械収穫等）	3,000 1/2以内、10地区 2年間継続																																
地域対応作物導入支援事業		麦等の土地利用型作物の生産拡大等に必要なハード整備	20,000 4/10以内 6地区																																
新たな流通チャンネル開拓促進事業	米	府内産米の公的施設等での利用促進のための検討（実態調査等）	1,000																																
	黒大豆・小豆	黒大豆、小豆の新しい販路確保の検討（加工特性の調査・分析等）	1,000																																
合 計			70,000																																
担当課・係名	農産流通課 農産係	直通電話番号	075-414-4955																																


# 平成16年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	家畜保健衛生所機能強化費		
予算額	106,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容  目的  対象  方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>BSEや鳥インフルエンザの発生等を発端として、府民の食品の安全性への関心がかつてないほどに高まっている中、消費者へ安心・安全な畜産物を供給するためには、複雑・多様化、国際化する家畜疾病に的確に対応し得る家畜保健衛生所の検査機能・指導体制を充実する必要がある。</p> <p>このため、新たに畜産主産地の北部地域に高度な機能を有する家畜保健衛生所を整備し、食の安心・安全対策を強化する。</p> <p>2 事業主体</p> <p>京都府</p> <p>3 事業概要</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>用地取得・造成費</p> <p>(2) 設置場所</p> <p>福知山市内</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設予定時期 平成16年度～平成17年度</li> <li>・施設概要 本館、解剖室、焼却炉、防疫倉庫等</li> </ul>		
担当課・係名	畜産課 家畜衛生係	課・係電話番号	075-414-4985

平成16年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	水と農・ふれあいづくり推進事業費		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容  (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨</p> <p>巨椋池干拓地において、地域住民や農業者など多くの府民参加により、環境保全活動を継続して行うとともに、環境と調和しながら行う土地改良施設の維持管理手法、さらに、「環」の公共事業行動計画を進める観点から、農業用水路整備などの公共事業を府民参加を得て行う仕組みづくりについて検討する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 環境ボランティア 活動の輪の拡大と関係者の連携強化</p> <p>(2) 現地調査 地域の動植物等の生活実態を調査し、農業や土地改良施設が自然環境に果たしている役割などを検証</p> <p>(3) ワークショップ 環境保全活動と連携して行う土地改良施設の維持管理手法や、「環」の公共事業行動計画を踏まえた府民参加型の公共事業のあり方などを検討</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">- 「水と農」のふれあいづくり -</p> <p style="text-align: center;">□環境団体、小学校等が行う環境保全活動・学習会の実践</p> <p style="text-align: center;">□「環」の公共事業行動計画の実践</p> </div> <p>3 実施主体            京都府</p> <p>4 負担区分            国1/2、府1/2</p>		
担当課・係名	耕地課 計画係	課・係電話番号	075-414-5042

# 平成16年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林整備地域活動支援事業費		
予算額	240,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目 的                      森林の有する国土保全、水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を発揮させるため、森林整備の取組を推進する措置として交付金を交付する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 対象地                      森林施業計画の認定を受けた30ヘクタール以上のまとまりある団地（公有林及び緑資源公団林を除く）</p> <p>(2) 対象行為                      協定に基づき行われる森林施業の実施に不可欠な地域における活動                      ・森林の現況調査 ・施業実施区域の明確化作業 ・歩道の整備等</p> <p>(3) 対象者                      協定に基づき活動を行う認定森林所有者等</p> <p>(4) 実施期間                      平成14年度～18年度（5年後に事業見直し）</p> <p>(5) 助成単価                      10,000円（ヘクタール・年相当）                      《積算基礎となる森林》                      ・人工林35年生以下及び天然林で育成林60年生以下の合計                      ・治山事業の整備森林を除く</p> <p>(6) 負担区分                      国1/2 府1/4 市町村1/4</p>		
担当課・係名	林務課計画係	課・係電話番号	075-414-5004